

首里城講座 平成 28 年度実施報告

1. はじめに

一般財団法人沖縄美ら島財団では、首里城に関する歴史・文化を普及啓発し、県民にその理解を深めてもらいながら関心を持っていただき、首里城公園の利用促進を狙う目的で首里城講座を実施した。3 年目を迎えた首里城講座は例年人気のある発掘調査成果報告のほか、平成 29 年に首里城公園開園 25 周年を控え、首里城公園の復元に携わった方々を講師として招聘し講座を行った。

2. 平成 28 年度首里城講座 一覧

(1) 第 1 期

- ① 第 1 回 開催日時：平成 28 年 6 月 3 日（金）17：00～18：30
講 師：新垣 力（沖縄県立埋蔵文化財センター 調査班 主任専門員）
テ ー マ：「首里城跡及び周辺遺跡から出土する 16～17 世紀の琉球陶器」
参加者数：30 名
- ② 第 2 回 開催日時：平成 28 年 6 月 10 日（金）17：00～18：30
講 師：金城 貴子（沖縄県立埋蔵文化財センター 調査班 主任）
テ ー マ：「東村（あがりむら）跡の発掘調査成果」
参加者数：23 名
- ③ 第 3 回 開催日時：平成 28 年 7 月 1 日（金）17：00～18：30
講 師：金城 亀信（沖縄県立埋蔵文化財センター 所長）
テ ー マ：「首里城京の内跡の発掘調査成果」
参加者数：32 名
- ④ 第 4 回 開催日時：平成 27 年 7 月 15 日（金）17：00～18：30
講 師：仲座 久宜（沖縄県立埋蔵文化財センター 調査班長）
テ ー マ：「首里城跡御内原北地区の発掘調査成果」
参加者数：29 名

(2) 第 2 期

- ① 第 1 回 開催日時：平成 28 年 8 月 5 日（金）17：00～18：30
講 師：山田 聡（沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 准教授）
テ ー マ：「沖縄のヤチムン～沖縄県立芸術大学の取組み～」
参加者数：22 名
- ② 第 2 回 開催日時：平成 28 年 8 月 12 日（金）17：00～18：30
講 師：外間 一先（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）
テ ー マ：「沖縄県立博物館所蔵の琉球王国のやきもの」
参加者数：29 名

- ③ 第3回 開催日時：平成28年8月19日（金）18：30～20：00
講 師：上江洲安亨
（一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター 琉球文化財研究室長）
テ ー マ：「琉球王国のコワイ話～球陽・首里古老が語った昔話～」
参加者数：26名
- ④ 第4回 開催日時：平成28年8月26日（金）17：00～18：30
講 師：上江洲安亨
（一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター 琉球文化財研究室長）
テ ー マ：「企画展『琉球王国のやきもの』解説」
参加者数：30名

（3）第3期

- ① 第1回 開催日時：平成28年12月9日（金）17：00～18：30
講 師：田里 博（沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 教授）
テ ー マ：「県立博物館文化遺産陶器の試作製作について」
参加者数：8名
- ② 第2回 開催日時：平成28年12月16日（金）17：00～18：30
講 師：名護 朝和（沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 准教授）
テ ー マ：「鎌倉芳太郎と紅型衣装の模造復元政策について」
参加者数：14名
- ③ 第3回 開催日時：平成28年12月23日（金）17：00～18：30
講 師：當眞 茂（沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 准教授）
テ ー マ：「琉球沈金の技法とデザイン」
参加者数：15名

（4）第4期

- ① 第1回 開催日時：平成29年2月10日（金）17：00～18：30
講 師：平良 啓（株式会社 国建 常務取締役）
テ ー マ：「首里城の復元方針・手法について」
参加者数：40名
- ② 第2回 開催日時：平成29年2月17日（金）17：00～18：30
講 師：安里 進（沖縄県立芸術大学附属研究所客員研究員）
テ ー マ：「正殿の色は赤か黒かー終わりのない首里城復元」
参加者数：42名
- ③ 第3回 開催日時：平成29年2月24日（金）17：00～18：30
講 師：高良 倉吉（琉球大学名誉教授）
テ ー マ：「首里城復元の意義」
参加者数：33名

3. 受講者の声

- ・この様な講座を各地域で実施して頂きたい。遠方からは中々参加できない方も多いのではないかな。
- ・歴史の検証が進んでいるのを知り嬉しくなりました。沖縄の歴史が学校教育の中で教えられるように調査研究を沖縄県民でやってほしい。
- ・首里城の歴史を根気強く調査した様子が伺われ、それらをまとめた苦勞が分かりました。
- ・出土遺跡の話がとても興味深く、見学会があれば参加したいと思いました。
- ・発掘手法の説明が分かりやすく大変勉強になりました。
- ・大学での登り窯の話がとても面白かった。
- ・今回のように博物館などに所蔵されている王国時代の工芸品の説明会をして頂きたい。先人の偉大さや文化があった事が分かり自信が沸きます。
- ・この時代に特徴的な出来事があったなど、琉球王国の歴代の王様について歴史講座をしてほしい。
- ・外国との交流、漂流者への接遇などが知りたい。また廃藩置県後の沖縄の経済や、尚家の処遇について講座をやってほしい。

4. まとめ

平成 28 年度は、沖縄県立芸術大学の美術工芸学部より教授・准教授を講師として招聘したことにより、美術工芸品に携わる製作者目線での新たな視点で講座を行うことができた。その際に試作品や製作で使用する道具を受講者に見て触ってもらえるようにしたため、大変好評であった。

しかし受講者数では前年度の 6 割程度に留まり、告知方法及び講座の内容については次年度検討する必要がある。

平成 29 年度は首里城公園が開園 25 周年を迎えることもあり、展示会や他館と連携した講座を行い首里城公園の魅力をより発信できる講座を開催する。